

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

平成31年
(2019年)

2月号



1月5日 「田辺市消防出初式」

12月定例会

一般会計補正予算などを可決 平成29年度一般会計歳入歳出決算は不認定

平成30年12月定例会は、平成30年11月28日に開会し、12月20日までの23日間の会期で開催され、「平成30年度一般会計補正予算」など、市長提出議案28件を全て原案のとおり可決または異議なしとしたほか、市長専決処分事項2件の報告を受けました。

なお、平成30年9月議会で常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていた平成29年度各種会計の歳入歳出決算議案等17件については、一般会計歳入歳出決算を不認定とし、その他の各種会計歳入歳出決算については全て原案のとおり認定または可決としました。

本定例会では、12月7日、10日及び11日の3日間にわたり、11人の議員が一般質問に立ちました。

目次

- ・ 議決結果の一覧等 …………… P 2～3
- ・ 一般質問 …………… P 4～6
- ・ 視察研修報告 …………… P 6～7
- ・ 3月定例会予定
議会活動日誌ほか …………… P 8

田辺市議会ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>

※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスできます。



QR
コード



議決結果

平成 30 年 12 月定例会

件 名		議決結果
3 定議案第 16 号	平成 29 年度田辺市一般会計歳入歳出決算について	不認定 (全会一致)
3 定議案第 17 号 及び同 20 号～ 32 号 (14 件)	平成 29 年度各種会計歳入歳出決算等 (3 定議案第 16 号、18 号、 19 号を除く)	認定または可決 (全会一致)
3 定議案第 18 号	平成 29 年度田辺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	認定 (賛成多数)
3 定議案第 19 号	平成 29 年度田辺市介護保険特別会計歳入歳出決算について	
4 定議案第 2 号	工事請負契約の締結について (田辺市斎場建築)	原案可決 または 異議なし (全会一致)
4 定議案第 6 号	工事請負変更契約の締結について (田辺市斎場敷地造成)	
4 定議案第 7 号	工事請負変更契約の締結について (スポーツパーク野球場防球ネット設置)	
4 定議案第 8 号	工事委託契約 (委任協定) の締結について (第二神子浜架道橋新設)	
4 定議案第 9 号、 10 号	損害賠償の額の決定及び和解について	
4 定議案第 11 号	田辺市龍神ごまさんスカイタワーの指定管理者の指定について	
4 定議案第 12 号	田辺市龍神丹生ヤマセミの郷の指定管理者の指定について	
4 定議案第 13 号	田辺市本宮渡瀬温泉センターの指定管理者の指定について	
4 定議案第 14 号	田辺市本宮渡瀬緑の広場の指定管理者の指定について	
4 定議案第 15 号	田辺市近露観光交流館の指定管理者の指定について	
4 定議案第 16 号	平成 30 年度田辺市一般会計補正予算 (第 8 号)	
4 定議案第 17 号	平成 30 年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	
4 定議案第 18 号	平成 30 年度田辺市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)	
4 定議案第 19 号	平成 30 年度田辺市木材加工事業特別会計補正予算 (第 3 号)	
4 定議案第 20 号	平成 30 年度田辺市水道事業会計補正予算 (第 5 号)	
4 定議案第 21 号 ～ 26 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	
4 定議案第 28 号	平成 30 年度田辺市一般会計補正予算 (第 9 号)	
4 定議案第 1 号	田辺市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
4 定議案第 3 号、 4 号、5 号	工事請負契約の締結について ((仮称) 扇ヶ浜公園武道館建築等)	
4 定議案第 27 号	土地の取得について (新庁舎整備事業用地)	

※ 議案番号の前の「3 定」は 9 月定例会を、「4 定」は 12 月定例会をあらわしています。

※ 3 定議案第 16 号から第 32 号までの各種会計決算は、平成 30 年 9 月議会で各常任委員会に付託され、閉会中の継続審査としていた案件です。

賛否が分かれた議案	議案の可否	紀新会					篤志会			清新会			公明党			日本共産党		くまのクラブ		誠和会		
		尾花功	宮井章	市橋宗行	安達克典	塚寿雄	高田盛行	福榮浩義	松上京子	浅山誠一	橘智史	柳瀬理孝	北田健治	小川浩樹	佐井昭子	出水豊数	久保浩二	川崎五一	前田佳世	安達幸治	陸平輝昭	中本賢治
3定議案第18号、19号 ※議案名は右記議決結果参照	認定	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	欠席	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
4定議案第1号 田辺市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	欠席	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
4定議案第3号、4号、5号 工事請負契約の締結について ※(仮)扇ヶ浜公園武道館建築等	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	欠席	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
4定議案第27号土地の取得について ※新庁舎整備事業用地	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	欠席	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成

※議長（小川浩樹）は議決に加わらないため斜線としています。

平成29年度田辺市一般会計歳入歳出決算を不認定としました

市のイセエビ放流事業において、和歌山南漁協が市に種苗代の水増し請求をしていたこと及び海面環境保全事業において、不適切な会計処理を行っていたことが、平成30年5月、明らかとなりました。

平成29年度田辺市一般会計歳入歳出決算において、イセエビ放流事業の水増し請求部分については適正額に修正されていましたが、海面環境保全事業の不適切な会計処理部分については修正されておらず、決算審査の時点で、他の水産関連事業を含め、調査中であるということでした。

このような状況から、予算が適切かつ効率的に執行されていないことは明らかであり、原因究明や今後の対応策等も示されていない中で決算認定はできないという意見が所管の産業建設委員会が出され、11月15日開催の同委員会にて全会一致により当該決算を不認定としました。

さらに、11月28日開催の本会議において、産業建設委員会からの委員長報告の後、採決を行った結果、全会一致により、当該決算を不認定としました。

市議会としては、市当局に対し、現在調査中の案件の全容解明に全力で取り組み、再発防止のため必要な措置を早期に講じるとともに、今後は、真に漁業者の生活を守り、水産業の発展に寄与する取り組みを実施していくよう求めています。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

災害対応、市国土強靱化地域計画について 安達克典議員

【議】 たび重なる台風による被害状況（長期化した停電による市民への影響と今後の対策）について当局の見解は。

【市】 台風21号の影響による停電は、市内全域約2万5千戸で発生し、中でも龍神管内では復旧までに1週間以上を要した。市では、発電機を貸与したほか、関西電力に発電機車両を配備していただくなど、復旧までの生活支援に努めた。今後大規模な停電発生時には、関西電力の復旧作業とともに、早期復旧に向けて、県とも連携し、道路情報等の提供や倒木等障害物と優先的に除去する。

移住相談窓口の一本化について 浅山誠一議員

【議】 移住希望者のニーズが山村部から地方都市の市街地へ変化している。旧田辺市内の多くは移住担当職員が担う移住相談窓口の対象外であり、機会損失を招いているのではないかと。雑誌「ソトコト」とタッグを組むシティプロモーションによって関係人口が増えつつある今、移住相談窓口を一本化し、市域全体での移住促進を図るべきだ。

【市】 市域全体での、より円滑な受入れの取組が必要であり、それぞれの地域での将来の担い手確保が重要だと考える。移住定住の促進に向け、今後、組織体制や庁内連携等について検討したい。

健康寿命向上のため外出支援（乗り合いタクシー）の充実について 久保浩二議員

【議】 高齢者を「閉じこもり」にさせないため、外出する機会を増やすことが必要ではないか。

【市】 外出などで社会参加を促進させることは重要で、人との交流を持つことが健康寿命を延ばすと考えている。

【議】 バス（住民・路線）は高齢者が外出に利用しにくい状況ではないか。

【市】 停留所までの距離によってはバスの利用が不便な方がいると認識している。

【議】 乗り合いタクシーを導入すれば、誰もが自宅から移動できる手段を確保でき、高齢者も外出しやすい環境が整えられる。市長の決断で実現すべきだ。

大規模地震発生時の給水対応について 北田健治議員

【議】 県地震被害想定調査書によると、南海トラフ巨大地震発生直後の断水人口は、7万5千人に上るとされている。備蓄物資に飲料水が含まれていない中、市の給水については、小泉浄水場の津波浸水対策、水道管の耐震化、緊急輸送道路の確保等の課題が残っており、確かな供給体制の構築や飲料水の備蓄等を進めるべきだと考えるが、今後の市の取組は。

【市】 輸送ルート確保対策として、道路啓開計画の作成の取組を進める。また、飲料水の備蓄や小泉浄水場の改修及び水道管の耐震化について検討していく。

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一していません。

一般質問

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

文里テニスコートの壁打ち施設の調査を受けての対応について 尾花 功議員

議 文里テニスコートの練習用壁打ち施設は安全点検の結果、使用禁止となっているが、今の施設を補強してでも使用できるようにならないか。

市 文里テニスコートの壁打ち施設については危険であると判断し、平成30年7月から使用を停止している。市内で壁打ち施設が設置されているのは文里テニスコートのみであり、利用者にご迷惑をおかけしていることから、建築基準法に適合する壁打ち施設の建築に向けて検討を進めている。

議 早急な対応をお願いします。

交通指導員の高齢化への対策について 安達幸治議員

議 交通指導員は現在125名で活動しているが、その平均年齢は60.8歳と大変高齢化しており、危機的状況にある。今後の対策をどうするのか。

市 交通指導員は、平日の早朝や休日に活動することが多く、なり手を見つめることが困難な状況になっている。現役の指導員や町内会長からの推薦によりその確保に努めているが、特に若年層の交通指導員の確保は重要であると考えており、町内会連絡協議会に協力いただくなどの努力をしていきたい。

ふるさと納税について 福榮浩義議員

議 近年急速に広がってきている『ふるさと納税』について、他の自治体への流出額は、また、そうした状況を踏まえた田辺市の取組と考え方は。

市 平成29年度の市税減少（流出）額は約3,800万円で、年々増加している。返品品の送付は、寄附金の獲得が目的ではなく、応援いただいた方への感謝の気持ちと、市の魅力向上や産業振興を目指す考え方で実施している。市や地場製品のファンづくりに取り組んでおり、寄附者への手書きメッセージカードの送付や市オリジナル年賀はがきにふるさと納税のPRを掲載する等、市内外へ周知を図っている。

市民と協働のまちづくりについて 前田佳世議員

議 市民と協働のまちづくりにおいて市民との合意形成を図るために必要なことは。

市 地元説明会、アンケート、意見公募や審議会委員の公募などにより、幅広く市民の意見を聞くことが大切である。

議 新庁舎整備に対する意見公募では多数の意見があったが、これは何を表すか。

市 市民に身近な施設であることから、多数の意見が寄せられたと考えている。

議 大半が反対意見で、市民無視で候補地を決め進めてきたことへの怒りの表れだ。新武道館建設では意見公募すら行わず、文里湾横断道路も形だけの意見聴取で進めている。意見を真摯に受け協働すべきだ。

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一しています。

生活排水について

佐井昭子議員

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

議 生活排水処理の現状、今後の展望、単独浄化槽から合併浄化槽への転換促進についてお聞かせいただきたい。

市 本市の汚水処理人口普及率は59.6%である。合併処理浄化槽や公共下水道、他の排水処理方法それぞれの特徴を踏まえ、生活排水の浄化につながるよう検討を重ねたい。県では、合併処理浄化槽へ転換する際の宅内配管部分について、平成30年度から5年間、上限額30万円とする補助制度を創設しており、本市においては、水洗化及び転換をさらに促進するため、来年度に向けこの配管補助制度を導入するべく検討している。

市立中学校における定期テストの共通化について 柳瀬理孝議員

議 近年、教師の過酷な労働環境が社会問題となっている。そんな中、市立中学校における定期テストの問題を学校ごとに各教師が作成するのは非効率ではないか。教師の労働環境の改善とともに、問題の質を平準化し、学校ごとの内申点の差を軽減するという意味でも定期テストの共通化を提案する。

市 共通化による効果も考えられるが、指導教員以外が問題を作成することの是非、実施例を把握できていないことなど課題も多い。現状での実施は困難であるが、今後、教科担当による情報交換等の取組を研究していきたい。

総務企画委員会

◆日程 平成30年10月30日～31日
◆派遣委員

◎尾花 功 ○柳瀬理孝 浅山誠一
川崎五一 高田盛行 小川浩樹

視察研修報告

常任委員会では、市政の発展・住民福祉の増進のため、他の自治体などの先進的な取り組み等について、行政視察を実施しています。

市民の税金を大切にす行政について 川崎五一議員

議 職員の不正・不祥事が続発しているが何が欠如していると認識しているか。

市 一概に申し上げにくい。

議 欠如しているのは、現状の総点検と危機感を持った対応だ。不正を発見したらどのように対処するのか。

市 原因の究明と再発防止策を講じるとともに厳正な処分を行う。

議 公表し全体で共有することが大切である。外部監査を導入すべきではないか。

市 日々の業務の適正な執行が重要である。

議 市の現状は危機的。市長には現状が見えていない。住民無視の行政をあらためて、公金を大切にすべきだ。

塚 寿雄

陸平輝昭

①千葉県我孫子市（提案型公共サービス民営化制度について）

我孫子市では、公共の果たす役割がますます複雑、広範になる中、一方で、公共サービスを担う民間企業の増加、新たな公共の担い手としてNPO法人などの活動が活発になってきたという背景もあり、平成18年から「提案型公共サービスの民営化制度」を開始しました。この制度は、これまで行政が担ってきた仕事を民間の知恵とアイデアでよりよいものにした上で、民間に移していくための制度です。市が行う全ての事業を対象に、民間から提案を募り、市民にとって

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一しています。

プラスと判断すれば、民間への委託、民営化を進めるものです。

平成29年度の実績では市全体で990の事業を公表し、6件の提案があり、4件採用されています。

例として、「広報の編集・発行」、「しあわせパママ教室」、「国民健康保険窓口業務」、「公園維持管理」、「公共施設等包括管理業務・財産管理・市営住宅維持管理点検業務」などさまざまな事業で採用されています。

経費や人員削減に直接結びつかない部分もありますが、ノウハウのある民間に任せることで行政ではできない分野でのサービス向上や職員の事務分担の効率化が図られています。

②埼玉県久喜市（液状化対策について）

久喜市は、埼玉県東北部に位置し、都心まで50km圏域にあり、東日本大震災で最大震度5強を観測し、市東北部南栗橋地区において液状化被害が発生しました。

内陸である久喜市で液状化が起こった要因としては、造成に使用した浚渫土砂が液状化の起きやすい砂の性状と一致していたこと、地下水位が高かったこと、強く長い揺れのであったことと分析されています。

久喜市における液状化対策工事は、平成29年9月に完了し、現在、地下水位・地盤沈下の観測を継続しています。

産業建設委員会

◆日程 平成30年11月5日～7日

◆派遣委員

◎二葉昌彦 ○宮井 章 久保浩二
福榮浩義 北田健治 安達幸治
佐井昭子

（◎委員長 ○副委員長）

①京都市（「森林バンク」を活用した森林の集約化事業について）

京都市では、新たな森林管理システム創設に係る関連法案施行に先行する形で、市内一部地域において森林集約化事業を始めています。

本市においても、平成31年度から森林集約化事業を実施していくことになるため、課題等について説明を受けました。

②富山県南砺市（南砺市クレー射撃場整備について）

南砺市では、鳥獣による農作物被害が深刻化する中で、狩猟者等の担い手確保、育成に対応するため、クレー射撃場の運営をしています。

本市においても、鳥獣による農作物被害が深刻で、狩猟者の確保、育成が課題となる中で、射撃場整備を含む今後の取り組みの参考とするため、課題等について説明を受けました。

③みらいもりやま21※滋賀県守山

市（みらいもりやま21の取り組みについて）

みらいもりやま21は、住み良いまちを創るため設立された会社で、行政、市民、事業者が一緒になって地域活性化を進めるための調整役を担うとともに、公共施設の指定管理など、事業主体としての取り組みも行っています。

本市においても、市街地活性化に向けたさまざまな取り組みが進められている中で、まちづくり会社として豊富な実績があるみらいもりやま21の取り組みについて説明を受けました。

文教厚生委員会

◆日程 平成30年11月12日～14日

◆派遣委員

◎橘 智史 安達克典 市橋宗行
中本賢治 出水豊数

（◎委員長）

①神奈川県藤沢市（地域包括ケアシステムについて）

藤沢市では、「藤沢型地域包括ケアシステム」として、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民や地域で活動する団体、関係機関等と連携した「支えあいの地域づくり」を進めています。

本市においても、平成29年度か

ら各地域に地域包括支援センターを設置しており、今後運営を進めていく中で参考にするため、藤沢市における事業の取り組みや課題等について説明を受けました。

②東京都町田市（認知症対策について）

町田市では、認知症高齢者数が増加することが予想されており、認知症予防や相談事業、見守り支援等さまざまな事業を実施しています。

本市においても、今後、認知症高齢者の増加が見込まれるため、認知症対策の取り組み内容や支援体制を参考にするため、事業内容や今後の検討課題等について説明を受けました。

③埼玉県三郷市（親の学習について）

三郷市では、埼玉県が開発した「親の学習プログラム」を活用し、三郷市青少年育成市民会議が中心となり「親の学習」事業を実施しています。親の学習には、子育て中の親を対象とした「親が親として育ち、力をつけるための学習」と、近い将来親になる中学生や高校生を対象とした「親になるための学習」があります。

講座の種類は、乳幼児保護者対象講座や小・中・高校生への保護者対象講座、親子合同講座、生徒対象講座があります。平成25年度から毎年200講座以上実施しており、平成28～29年度の参加者はいずれも延べ1万人を超えています。

議 会 活 動 日 誌

11月

【15日】産業建設委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
 【21日】総務企画委員会
 【22日】議会運営委員会
 【28日】本会議（1日目）、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会

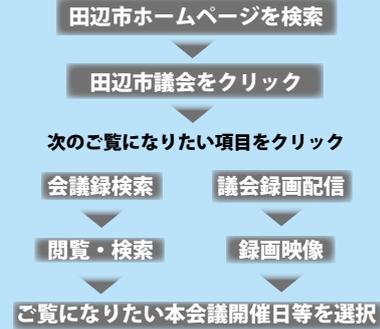
12月

【7日】本会議（2日目）、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
 【10日】本会議（3日目）、議会運営委員会
 【11日】本会議（4日目）、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
 【12日】文教厚生委員会、産業建設委員会
 【13日】総務企画委員会
 【20日】本会議（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会

1月

【16日】広報委員会
 【28日】新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会

市議会本会議の会議録や録画映像はインターネットからご覧いただけます



- 田辺市ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/>
- 田辺市議会ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.htm>
 ※表紙のQRコードからもアクセスできます。
- 会議録検索ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html>
- 議会録画配信ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html>

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本会議会議録、録画映像をご覧いただけるほか、声の議会だよりのご利用いただけます。

【連絡先】

田辺市議会事務局
 〒646-8545
 田辺市新屋敷町1番地
 TEL 0739-26-9940（直通）
 FAX 0739-25-5579
 E-mail: gikai@city.tanabe.lg.jp
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>

次回の「市議会だよりの」

5月号

（3月定例会の報告）



平成31年3月定例会の会期日程（予定）

3月定例会の会期日程（案）をお知らせします。
 なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
2	27	本会議1日目（現年度補正予算等関係議案の提案説明、新年度予算等関係議案の提案説明）
	28	本会議2日目（新年度予算等関係議案の提案説明（続き）、現年度関係議案に対する質疑及び委員会付託）
3	4、5	常任委員会（現年度補正予算等関係議案審査）
	11	本会議3日目（付託議案に係る委員長報告、現年度補正予算等関係議案審査、一般質問）
	12	本会議4日目（一般質問）
	13	本会議5日目（一般質問、新年度予算等関係議案に対する質疑及び委員会付託）
	14、15、18、19	常任委員会（新年度予算等関係議案審査）
	25	本会議6日目（新年度予算等関係議案に係る委員長報告、議案審査）

※本会議の開会予定時刻は、3月25日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

議会だよりの2月号をお読みいただき、ありがとうございます。まだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

まもなく「平成」が終わろうとしています。インターネットなどテクノロジーの高度化と社会のグローバル化が急速に進む一方で、少子高齢化の進行、阪神・淡路大震災や東日本大震災を初めとする多くの災害などさまざまな課題に直面した30年でもありません。

平成17年に5市町村が合併し誕生した私たちの新田辺市も、台風災害を初めとする大きな課題を数々乗り越え、世界遺産熊野古道の繁栄や紀の国わかやま国体等を経て、外国人を含む多くの人々が訪れるまちに様変わりしました。社会情勢は依然厳しく、特に我々地方は人口減少や高齢化、各産業の衰退が顕著で将来に不安を抱く方も多いと思えますが、新たな時代の到来を歓迎し、希望をもって前向きに進んでいきたいと思えます。（出水）

委員	副委員長	委員長	広報委員会
” ” ” ”	員		
出水	塚 二 橋 前 福 安	寿 昌 智 佳 浩 幸	数 雄 彦 史 世 義 治